

下水道広報効果に関する研究

地域共創学部
地域づくり学科
講師

佐藤 忠文



研究シーズの紹介

イラストやキャラクターが描かれたマンホール蓋を見たことはありませんか？それらはデザインマンホール蓋と呼ばれています。

これらの蓋は下水道事業の広報活動のために生まれました。今ではマンホールカードも配布されています。近年インフラの老朽化が大きな社会問題になり、下水道事業も同様の状況です。解決には下水道インフラの必要性を市民が理解し、維

持管理コストの増加等に納得する必要があります。そこで下水道広報の重要性が高まっています。

しかしながらこれまで下水道広報の効果は十分検証されてきませんでした。本研究は卒業研究の一環として、デザインマンホール蓋やマンホールカードの広報効果を調査、分析しています。



効果を見える化

- デザインマンホール蓋がどれだけ視認されているかを数値化しました。
- マンホールカードの受け取り者に対するアンケート調査を行いました。
- 下水道広報効果の見える化に貢献します。



写真（上）：マンホールカード調査の様子

14,000人が来場した「第10回マンホールサミットin所沢」にて大学生が初の学生登壇者となり、600人超を前に講演しました。これらの取り組みが評価され、下水道広報プラットフォーム主催の「GKP広報大賞2022」で準グランプリを受賞しました。

写真（下）：マンホールサミット登壇時の様子



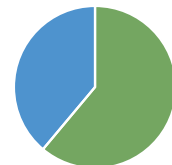
これまで北九州市・佐賀市にてデザインマンホール蓋の視認率調査を実施しています。また大分市・岩国市・柳井市においてマンホールカード受け取り者へのアンケート調査を実施しました。成果は報告書にまとめ、国や自治体、関係団体様と共有しています。

期待される活用シーン

● デザインマンホール蓋を設置したけれど、効果は出ているのだろうか？



デザインマンホール蓋がどれだけ視認されたかを数値化して提示します。



● マンホールカードを配布したけれど、効果は出ているのだろうか？



マンホールカードの効果について受け取り者へのアンケート調査を行い、分析します。



効果が見える！
検証できる！